

平成28年度 学校自己評価

〔4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない〕

瓊浦高等学校

校務分掌	項目	具 体 的 方 策	評 価
教務	各分掌、各学年と連携し、生徒が輝く明るい学校づくりを目指す。	学習の習熟度に応じたきめ細やかな指導を目指し、ICT教育の実践と魅力ある教育課程の見直しを行う	2.9
		授業規律を確立し、生徒の授業への積極的な参加を推進する。	2.6
		学校行事、生徒会活動、地域行事等を通してリーダーシップを発揮できる生徒を育成する。	3.0
		生徒に基本的生活習慣を確立させ、年間出席率98%を目指す。	3.2
		センター研修や他校訪問など、職員研修の充実を図る。	2.9
教務 (入試広報)	中学校・生徒・保護者に向けて、本校の魅力のPRに、全教職員が連携して取り組む。	P T A 活動、地域開放講座等を通して、開かれた学校づくりを推進する。	3.2
		各分掌、各学年に入試・広報の担当を置き、全ての教師で生徒の募集活動を行う。	2.6
		中学校訪問を年間最低5回〜6回実施する。在校生（特に新入生）の情報交換や行事等を紹介して、中学校との緊密な関係を築く。	3.6
		学校見学会の更なる充実を図り、中学生や保護者に本校の教育活動や魅力を伝える。	3.4
		各中学校における高校説明会の内容を見直し、より充実したPR方法を検討する。	3.2
		SNSメディア・掲示物・学校パンフレット・ホームページを効果的に活用し、キャッチフレーズの定着を図る。	3.1
		ホームページ・学校ブログの更新をきめ細かく行い、開かれた学校づくりに取り組む。	2.9
生徒指導	基本的生活習慣を自ら考え確立させ、心豊かでたくましい生徒を育てる。	長崎市内外および時津・長与地区に限らず県内全域を対象に広報活動を積極的に展開する。	3.4
		高校生らしい品性ある容儀・服装・礼儀の徹底を図る。	2.8
		マナーアップ週間を設定し、公共心やマナーを身につけさせる。	3.0
		学校行事・生徒会活動等を通して、主体的に取り組めるリーダーを育成する。	3.1
		規範意識が社会生活に大切な事を気づかせ、ルールを守らせる。	3.0
就職指導	「自分探し」「自分作り」「自己実現」のサポートと社会貢献する人材の育成	いじめが起こらない学級・学校づくりをする。	3.0
		各学年に合わせたキャリア教育の推進	3.4
		生徒の目標や個性を尊重した進路開拓 社会に貢献する多様な人材の輩出	3.4 3.1
進学指導	3年間を見通した全学的な進学体制を確立するとともに、生徒個々の学力と進路に対する意識を確実に伸ばし、進路希望の実現を図る。	生徒個々の学力と進路希望に応じた指導体制を確立し、生徒の学力向上に努める。	2.7
		ICTを積極的に活用し進学に関する資料や情報を発信して全職員で共有することで、生徒個々に対応した進路指導を行う。	2.2
		進路ガイダンスや出前講座・大学見学会などに積極的に参加させ、進学意識の高揚を図る。	2.7
		キャリア教育の視点に立った、3年間を見通した計画的な進路指導体制を確立する。	2.5
環境美化	『きれいな瓊浦』の実現 ～生徒と教職員が協力して清掃活動に取り組み、校内の美化と学習環境の整備に努める～	教室の美化に努め、整った環境の中で授業をする。	2.8
		環境美化委員会を中心に定期的な清掃活動を行い、校内外の美化活動を推進する。	2.7
		花壇づくりやごみの分別を推進し、環境美化意識の啓発と美化意識の高揚に努める。	2.9
		地域の美化活動として勤労体験学習を行い、地域社会へ貢献する。	3.3
		エコ活動を実践するため、節電・節水を推進する。	2.7
保健	生徒一人一人が健康で、安心して学校生活を送れるよう組織的に支援する。	5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を徹底させる。	2.7
		定期健康診断により疾病等の早期発見に努め、早期治療を促すとともに予防的措置に関する教育活動等に取り組むことで、生徒の基本的生活習慣を確立する。	3.5
		各学年との連携を深め、学校不適応生徒、長期欠席生徒の早期発見、状況把握等に努めるとともに、そうした生徒に対する支援体制をさらに充実させていく。	3.2
		保健室・相談室等、多様な視点から、生徒の人間関係を把握していくことで、いじめ防止、いじめの早期発見に努める。	3.2
		特別支援教育委員会の活動を通して、特別支援教室への理解を深めるとともに、特別支援を要する生徒の実態把握に努め、授業の在り方や生徒指導の方法等について調査・研究を行う。	3.1
庶務	「メリハリをつけた事務体制」	安全・快適な環境づくりの推進。	2.5
		校内インフラの点検及び補修工事の推進。	2.9
		制度変更等への確実な対応と効率化。	2.4
		経費の削減(メリハリをつけた対応)。	3.0
1 学年	「常昇軍団」(V)	カウンセリングテクニックを駆使し、問題・課題の早期発見に努める	2.7
		学校行事を通して、クラスの団結力を高める NCSシートと面談により、適切な指導・助言を図る	3.3 2.8
2 学年	『豊かな心を育み、目標達成の喜びを体感させる。』 「HEART, HIGH, HAPPINESS! 瓊浦力の拡充」	規律があり品格と豊かな感性を持つ生徒の育成を図る。(HEART 礼節を重んじ、助け合いの精神を育む。)	2.9
		学業と行事に目標を掲げ邁進させる。(HIGH 主体性を育み、確かな学力と行動力の定着を図る。)	3.1
		個々のやる気を継続させ、目標達成と喜びの共感へと導く。(HAPPINESS何事にも負けない逞しさを身につけ、自己実現の達成を図る)	2.9
3 学年	「主体性にあふれる、豊かな人間性を育み、一人ひとりの『夢』を実現させる」	学習に意欲的に取り組ませ、生徒の個に応じた学力の育成を図り、希望進路決定を実現させる。	3.1
		品格・規範意識を高め、社会を担う人間としての自覚を持たせる。	2.9
		主体的に部活動や行事に取り組ませ、様々な人間関係を体験させる中で、他を思いやる心を育む。	3.2
研修	教員の教育活動におけるスキルアップを図るため、様々な研修に参加する。	計画的に研究授業や職員研修を実施する。	3.1
		多くの教員が、県教育センター等の研修に参加する。	2.5
		校内研修報告会を行い、教育活動への意識向上とスキルアップを図る。	2.8
魅力ある私立学校づくり支援事業	長崎の歴史・文化について学び、郷土愛を育ませる。	生徒が観光客に適切に案内・説明ができるよう学校周辺にある長崎の歴史・文化についての知識を定着させる。	2.5
		普通科は総合的な学習の時間を利用して、長崎の歴史・文化に関わる史跡等の見学や講義を通して、長崎について学び、理解を深める。	2.9
		情報ビジネス科3年生は「課題研究」の時間を利用して風(ハタ)について調査・研究し、「風(ハタ)」制作を行う。	3.0
		機械科3年生は「課題研究」の時間を利用して亀山焼を学び、亀山焼の陶器創作を行う。	2.9
		身近な環境(長崎市)の大気の状態とその影響を調査研究し、環境保全の意識を醸成する。(JAXAとの連携)	2.6

平成28年度 学校自己評価について

全体の評価平均は2.9であり、評価は高い。

・学力向上については、ICT活用のためタブレットを導入するなどの整備を行った。来年度は更なる活用の工夫を考えていかなければならない。

・広報活動については、目標達成は概ね良好であり、中学校との緊密な連携が築けた。

・電灯の随時LED化や便器の一部交換、危険箇所の補修等、学校内の環境改善を積極的に行えた。来年度もさらに改善できるように努力する必要がある。

・年間出席率が学校目標の98%を達成し、基本的生活習慣の確立がなされた。

・就職率100%を達成し、さらに1、2年生に対して進学・就職両方とも意識を高める取組を積極的に行えた。

・生徒の美化意識高揚を十分に図れなかったが、意識が上がった生徒が増えた。今後は生徒会の委員会活動の中で取組を強化したい。

・不登校の生徒への支援体制がしっかりと確立でき、支援が必要な生徒への対応が十分にできた。いじめ問題も含めて、今後も生徒の支援体制の確立を図る。

・輝く私学支援事業はJAXAとの連携で行い概ね良好であったが、来年度はまだ工夫が必要である。